

市町村議会議員特別セミナー

市町村議会議員特別セミナーを、11月4日、5日の2日間の日程で開催しました。全国各地からご参加いただいた74人の市町村議会議員の皆様に聴講いただきました。

初日は、「災害に強いまちづくりと自治体・議会の役割」と題して、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授の鍵屋一氏から、これまでの大規模災害の被害状況や福祉防災計画の必要性、災害時における議員・議会の役割等についてご講演いただきました。参加者からは、「災害時の議員と対策本部（自治体職員）との関係や地域住民との係わりなど、実態に即した内容で、とても勉強になった」、「支援計画を作るうえで、福祉の視点が大事だと分かった」、「議員が災害時にやるべきことを具体的に分かりやすく伝えていただき、よく理解できた」などの感想をいただきました。

次に、「地方議会改革の変遷と今後の展望～20年にわたる連載『変わるか！地方議会』の取材から見えてきたもの」と題して、月刊「ガバナンス」編集主幹の千葉茂明氏から、議会のIT化や議員のなり手不足の解消など地方議会の様々な取組事例の紹介を交えて、地方議会改革の新たな展開や今後の展望と課題等についてご講演いただきました。参加者からは、「様々な事例を挙げていただき、大変参考になった」、「タブレット導入など議会改革が進んでいることが分かった」、「自分の議会でも出来るところから取り上げていきたい」などの

感想をいただきました。

2日目は、「公共施設更新問題への挑戦－秦野市の取組みと日本のハコモノ事情から－」と題して、神奈川県秦野市上下水道局経営総務課参事兼課長の志村高史氏から、公共施設更新問題の解決に向けた秦野市の取組事例や全国の自治体における公共施設を巡る現状と課題等についてご講演いただきました。参加者からは、「とても感銘を受けた。秦野市へ一度視察に行きたいと思った」、「より一層、今すぐにも取り組む必要性を強く感じた。自分なりにしっかりと取り組んでいきたい」、「課題が明確になった。地元の状況を再確認したい」などの感想をいただきました。

最後に、「まちの幸福論～自分たちのまちをデザインしよう～」と題して、株式会社studio-L代表、関西学院大学建築学部教授、コミュニティデザイナー、社会福祉士の山崎亮氏から、まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなど地域の課題を地域に住む人たちが解決するための「コミュニティデザイン」についてご講演いただきました。参加者からは、「住民参加に無限の可能性を感じた」、「まちづくりの方法について、今までやったことのない方法だったので参考になった」、「住民が主体的に活動する『まちづくり』の楽しさや素晴らしさを知った」などの感想をいただきました。

災害に強いまちづくり
と自治体・議会の役割

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授
鍵屋 一氏

地方議会改革の変遷と今後の
展望～20年にわたる連載
『変わるか！地方議会』の取材
から見えてきたもの

月刊「ガバナンス」編集主幹
千葉 茂明氏

公共施設更新問題への挑
戦－秦野市の取組みと日
本のハコモノ事情から－

神奈川県秦野市上下水道局経営総務課参事兼課長
志村 高史氏

まちの幸福論～自分たち
のまちをデザインしよう～

株式会社studio-L代表、関西学院大学建築学部教授、コミュニティデザイナー、社会福祉士
山崎 亮氏

